

# 2023年度 事業計画書

期間: 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

一般社団法人B-BALLY'd  
代表理事 須田将広

法人事業全体として、定期練習会などの主な事業に加え、バスケットボール競技における視覚共通言語であるサインバスケットボールの探求を邁進していく。

- Zoom活用を含めた定期練習会の月4回開催の更なる定着化(継続)
- 定期練習会・イベントを任せられるアシスタントコーチの確保(継続)
- ビバリード専属の手話通訳者の確保と育成(継続)
- SNSやホームページを活用した情報発信(継続)
- ビバリード主催の外部講師クリニックの開催(継続)
- 視覚共通言語であるサインバスケットボールの探求(継続)
- ビバリードチームの活動方針を確定させ、活動を開始する(新規)

## 1. 事業

- a) 定期練習会を月4回で開催する
  - i. 活動拠点である枚方市以外の実施場所を増やす
    - a) 長居障害者スポーツセンターを追加する(週一のペース)
    - b) 大阪を拠点に活動するデフバスケットチームの支援
  - ii. 可能な限り、障害者施設の利用を増やす(金銭的な負担の軽減)
  - iii. 状況に応じて、Zoomオンライン講習会を実施する
  - iv. 状況に応じて、クロストレーニング(他スポーツとの交流)を実施する
- b) ビバリードチーム
  - i. チーム活動を目的とし、一般の大会等に参加することを目標とする
  - ii. サインバスケの実践的な場としても活用する
- c) 広報活動
  - i. ホームページの更新、記事を投稿(特にここを強化すべき)
  - ii. 広報アンバサダーによるSNS発信
  - iii. LINEのオープンチャットによる内部連絡網の活用
  - iv. 会員数40人以上が目標(現在34人)
- b) ビバリードの専属コーチ、専属手話通訳者の確保
  - i. 定期練習会やイベントを任せられるコーチの確保
    - a) 専属コーチを迎える際、会費免除や費用援助を検討
    - b) コーチ育成のための予算確保(障害者スポーツ指導員、JBA公認コーチ等)
  - ii. 手話通訳者の確保
    - a) イベントや講習会(コーチ育成含む)への手話通訳派遣費用の確保も含む
- c) 枚方市障害者社会参加促進事業スポーツ講習会へ協力
  - i. 今年度の枚方市イベントに参加する(詳細は別途)
- d) 体験会の開催
  - i. 会員数を増やすための活動(デフスポなどのイベントを活用)
  - ii. 遠方からの参加者が来やすくするため、休日の体育館を活用する
- e) サインバスケットボール競技の探求
  - i. サインバスケットボールを説明できる資料を作成する
  - ii. JDBAと業務委託契約を締結し、サインバスケットボールの考え方を共有する

## 2. 活動資金

- a) 募金
  - i. ソフトバンク様の繋がる募金の共有や公開を強化する
  - ii. 障害者施設などに募金箱を設置する
  
- b) スポンサー
  - i. 北河内周辺の企業などに団体の説明と活動のビラ作成、スポンサー集めを実施
  - ii. 障がい者向けCSRを重視している企業に積極的に連絡を取る
  
- c) 助成金
  - i. 各助成金団体の募集期間を確認しながら、積極的に申し込みを実施する
  - ii. 実績の積み重ねがわかるように常に情報を発信(ホームページ、SNSなど)
  
- d) その他
  - i. 北河内周辺にある市役所、教育委員会など含む主要企業へ後援を依頼

以上